

船舶事故等調査報告書

平成26年11月27日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2014長第73号
事故等種類	運航阻害
発生日時	平成26年7月21日（月、祝日） 18時53分ごろ
発生場所	佐賀県唐津市小川島南東方沖 小川島港西防波堤灯台から真方位108° 2.7海里（M）付近 （概位 北緯33° 34.8′ 東経129° 57.0′）
事故等調査の経過	平成26年8月8日、本インシデントの調査を担当する主管調査官（長崎事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報	
船種船名、総トン数	旅客フェリー フェリーあずさ、683トン
船舶番号、船舶所有者等	129472、九州郵船株式会社
乗組員等に関する情報	機関長、三級海技士（機関）
死傷者等	なし
損傷	なし
事故等の経過	本船は、船長、機関長ほか9人が乗り組み、旅客74人を乗せ、車両15台を積み、唐津市唐津港東港を出港し、長崎県壱岐市印通寺港へ向けて小川島南東方沖を航行中、平成26年7月21日18時53分ごろ右舷主機減速機（以下「本件減速機」という。）の異常を知らせる潤滑油圧力低下警報が発生し、乗組員が、各部を点検したところ、潤滑油圧力の低下及び異音を認めたので、右舷主機を停止した。 本船は、左舷主機のみで航行を続け、約30分遅れで印通寺港に入港した。 乗組員は、着岸後、本件減速機用の潤滑油こし器及び点検口から本件減速機内部を点検したところ、潤滑油こし器に金属粉を、内部底部付近に金属粉及び金属片をそれぞれ認めた。
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 西南西、風速 約4m/s、視程 約5M 海象：波高 約0.5m
その他の事項	本件減速機は、本インシデント後、メーカー担当者により、開放点検が行われ、異物の混入等による入力軸軸受の破損が確認された。
分析	
乗組員等の関与	なし
船体・機関等の関与	あり
気象・海象の関与	なし
判明した事項の解析	本船は、小川島南東方沖を航行中、本件減速機の入力軸軸受が破損したことから、右舷主機の運転ができなくなり、運航が阻害されたものと考えられる。

	<p>本件減速機の入力軸軸受は、潤滑油系統に異物が混入し、潤滑が阻害され、破損した可能性があると考えられる。</p>
<b>原因</b>	<p>本インシデントは、本船が、小川島南東方沖を航行中、本件減速機の入力軸軸受が破損したため、右舷主機の運転ができなくなったことにより発生したものと考えられる。</p>
<b>参考</b>	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 減速機は、潤滑油こし器を適宜に点検し、金属粉等の異物が混入していれば、各軸受の開放点検を行うこと。</li></ul>